

事業報告

1. 総会・理事会

(1) 第24回定時総会

- ・日 時 平成26年6月3日(木) 14:00～15:00
- ・場 所 ホテル アジュール竹芝 東京都港区海岸
- ・議決事項
 - 第1号議案 平成25年度事業報告及び決算報告に関する件
 - 第2号議案 平成26年度事業計画及び収支予算に関する件
 - 第3号議案 定款変更に関する件
 - 第4号議案 当局への要望に関する件
 - 第5号議案 役員を選任に関する件

(2) 第53回理事会

- ・日 時 : 平成26年6月3日(火) 12:30～13:50
- ・場 所 : ホテル アジュール竹芝 東京都港区海岸
- ・議決事項
 - 第1号議案 平成25年度事業報告及び決算報告に関する件
 - 第2号議案 平成26年度事業計画及び収支予算に関する件
 - 第3号議案 定款変更に関する件
 - 第4号議案 当局への要望に関する件
 - 第5号議案 役員を選任に関する件
 - 第6号議案 会員の入会に関する件
 - 第7号議案 ウォーターフロント振興支援事業実施要領改定に関する件

(3) 第54回理事会

- ・日 時 : 平成26年6月3日(火) 15:05～15:25
- ・場 所 : ホテル アジュール竹芝 東京都港区海岸
- ・議決事項
 - 第1号議案 会長、副会長及び専務理事の選任に関する件
 - 第2号議案 顧問の選任に関する件

(4) 第55回理事会

- ・日 時：平成27年3月5日(木)12:00～14:30
- ・場 所：ホテル アジュール竹芝 東京都港区海岸
- ・議決事項
 - 第1号議案 平成27年度事業計画及び収支予算に関する件(定款36条)
 - 第2号議案 会員の入会に関する件(定款第6条2項)
 - 第3号議案 顧問選任に関する件(定款第28条2項)
 - 第4号議案 定時総会開催に関する件(定款第14条1項)
 - 第5号議案 就業規則改訂に関する件
 - 第6号議案 「汚濁防止膜再利用カーテン引張強度証明制度」の創設及び運用に関する件

(5) 顧問会議

- ・日 時：平成27年3月24日(火)12:00～14:00
- ・場 所：WTCカンファレンスセンター ウェーブ 東京都港区浜松町
- ・出席者：栢原 英郎 元日本港湾協会 会長
 - 川崎 裕康 元会長
 - 川島 毅 前会長
 - 大谷 鮎子 NPO法人九州キラキラみなとネットワーク 理事長
 - 高田 昌行 国土交通省港湾局 産業港湾課長
 - 小谷野 喜二 国土交通省港湾局 海洋・環境課長
 - 浅輪 宇充 国土交通省港湾局 技術企画課長
 - 泉 信也 元顧問(元国務大臣)
 - 青木 義典 前専務理事
 - 鬼頭 平三 会長
 - 橋間 元徳 専務理事

協会状況報告

- I 総会・理事会について
- II 平成26年度活動報告、決算見込みについて
- III 平成27年度事業計画及び収支予算について
- IV 「汚濁防止膜再利用カーテン引張強度証明制度」の創設及び運用に

ついて

V メルマガ会員について

2. ウォーターフロント開発・振興支援業務

(1) ウォーターフロント振興支援（助成）事業の実施

1) ウォーターフロント振興支援事業成果報告会の実施

- ・日 時 : 平成 26 年 6 月 4 日 (水) 10 時～12 時
- ・場 所 : ホテルアジュール竹芝 14 階天平の間
東京都港区海岸 1 丁目 11 番 2 号

平成 25 年度に実施されたウォーターフロント振興支援事業 3 港 3 事業の報告がなされ、意見交換がおこなわれた。また、ウォーターフロント振興支援事業選定委員の講評をもらった。

- ①蒲郡港 蒲郡みなとフェスティバル 蒲郡市
- ②新潟東港 聖籠町地域活性化事業—聖籠マリンフェスティバル 聖籠町
- ③鹿児島港 「外から見た鹿児島」講演会 NPO 法人ゆめみなと鹿児島

2) 平成 26 年度は下記の事業について助成した。

《豊かなウォーターフロント形成支援事業》

港	対象事業の名称	申請者
館山	後継者育成支援を目的とするウミホテル観察会の開催	館山市
敦賀	敦賀みなとフェア 2014 ～港とフェリーにふれあおう～	敦賀市
瀬戸田	瀬戸内しまなみ海道クルージング体験イン尾道	尾道市
酒田港	「酒田湊おもてなし市」の開催	酒田市

名古屋	名古屋港開港祭 「名古屋フレンドリーポート 2014」	公益財団法人名古屋 みなと振興財団
紋別	紋別市市政施行 60 周年記念 紋別市ウォーターフロントフェスティバル	紋別市

3) 平成 27 年度「ウォーターフロント振興支援事業」の決定

平成 27 年 1 月 30 日に開催された選定委員会の選考に基づき、次の 3 件を決定した。

《豊かなウォーターフロント形成支援事業》

港	対象事業の名称	申請者
苫小牧	ブラバンコンサート in 新・ご当地グルメグランプリ北海道	苫小牧港管理組合
室蘭	客船歓迎と複合した、みなとオアシスと道の駅が連携した PR 活動	室蘭市
神戸	シンポジウム「海に開く～阪神淡路大震災 20 周年を省みて～災害時の船舶利用とクルーズ母港への期待」	一般社団法人神戸港振興協会

決定に先立ちウォーターフロント振興支援事業選定委員会が開催された。

- ・ 日 時：平成 27 年 1 月 30 日（金） 10：00～12：00
- ・ 場 所：一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦
- ・ 委 員：（五十音順、敬称略）
 - 佐藤 成美 五洋建設株式会社 横浜支店 顧問（委員長）
 - 佐藤 浩孝 株式会社 NIPPO 執行役員
 - 高田 昌行 国土交通省 港湾局 産業港湾課長
 - 原 重一 観光開発プロデューサー
 - 廻 洋子 淑徳大学 経営学部 学部長教授
 - 横内 憲久 日本大学 理工学部 まちづくり工学科 学科長教授

(2) 「みなとオアシス全国協議会」の運営

- 1) 総 会 平成 26 年 7 月 18 日 (金) 14 : 30~15 : 00
グリーンヒルホテル尾道 3F ボンシェール 広島県尾道市
- 2) 理事会 平成 26 年 7 月 18 日 (金) 12 : 00~14 : 30
グリーンヒルホテル尾道 3F プリムヴェール 広島県尾道市
- 3) その他
 - ・メールマガジン「みなとオアシス便り」を毎月 1 回配信

(3) S e a 級グルメ

- 1) 「みなとオアシス S e a 級グルメ」全国大会の開催
第 5 回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in 尾道 (レモンの島瀬戸田)
 - ・日 程 : 平成 26 年 7 月 19 日 (土) ~ 20 日 (日)
 - ・場 所 : 尾道市瀬戸田サンセットビーチ
17 オアシスが出店。応援参加として苫小牧、かんたん港園が出店。

- 2) 『第 1 回境港おさかなロード大漁祭』で S e a 級グルメコンテスト in 境港開催
 - ・日 程 : 平成 27 年 3 月 21 日 (土) ~ 22 日 (日)
 - ・場 所 : 鳥取県境港市 境港おさかなロード・境水道海岸通り
 - ・主 催 : 境港元気みなと商店街

(4) 港弁

平成 26 年 7 月 18 日みなとオアシス全国協議会総会にて認定手続き変更を報告。
港弁の認定は各みなとオアシス事務局から申請、みなとオアシス全国協議会事務局であるウォーターフロント協会が認定する。

(5) 「みなとの博物館ネットワーク・フォーラム」の運営

- 1) 総 会 平成 26 年 6 月 20 日 (金) 14 : 00~14 : 40
新潟市歴史博物館「みなとびあ」セミナー室
- 2) 創立 10 周年記念事業
 - ①オリジナルクリアファイル全館一斉配布
 - ②功労者表彰 4 館に記念の盾を贈呈した。

(横浜みなと博物館、名古屋海洋博物館、神戸海洋博物館、船の科学館)

③シンポジウム 平成 26 年 11 月 13 日 (木) 13:30 ~ 19:00

浜松町東京會館 東京都港区浜松町

・記念講演 「海運国日本の誕生」

徳川 恒孝 公益財団法人 徳川記念財団 理事長

・パネルディスカッション

パネラー：河井 孝仁 東海大学 文学部情報メディア学科 教授

東 恵子 東海大学 海洋学部環境社会学科 教授

戸高 一成 大和ミュージアム 館長

志澤 政勝 横浜みなと博物館 副館長

コーディネーター：橋間 元徳(一社) ウォーターフロント協会専務理事

・交流会

3) 拡大役員会 平成 26 年 11 月 13 日 (木) 11:00~12:00

浜松町東京會館 東京都港区浜松町

4) 企画委員会

第 1 回 平成 26 年 6 月 4 日 (水) 一般社団法人ウォーターフロント
協会

第 2 回 平成 26 年 10 月 7 日 (火) 一般社団法人ウォーターフロント
協会

第 3 回 平成 27 年 3 月 17 日 (火) 一般社団法人ウォーターフロント協会

5) 主な事業

・会報 No. 10 発行

・メールマガジン「みなとの博物館情報」を平成 22 年 9 月より毎月 1
回配信

・助成事業

平成 26 年 12 月 17 日 (水) に開催された助成事業審査委員会にお
いて

平成 27 年度の助成館 3 館と助成金額を決定

・スキルアップ交流会

平成 26 年 12 月 11 日 (木) ~12 日 (金)

沖縄海洋文化館及び周辺施設を見学

美ら海水族館、熱帯ドリームセンター、首里城、沖縄県立博物館、

那覇クルーズターミナル、対馬丸記念館

6) その他

・「今月の逸品」、「新着資料紹介」をホームページとメールマガジンに掲載。

「今月の逸品」は6月の32回で会員館を一巡した。7月より「新着資料紹介」がスタートした。

<今月の逸品>

vol. 30 南島原市口之津歴史民俗資料館
「旧長崎税関口之津支署庁舎」 (平成26年

4月)

vol. 31 館山市立博物館分館
「房総半島の漁撈用具、万祝」 (平成26年

5月)

vol. 32 東京海洋大学明治丸海事ミュージアム
「重要文化財明治丸と百周年記念資料館ならびに第1・第2

観測台」

(平成26年6月)

<新着資料紹介>

第1回 東京みなと館 (平成26年
7月)

「DVD (勝鬨橋、液状化のメカニズムと東京港における取組)、船舶
模型」

第2回 船の科学館 (平成26年
8月)

「タッチできる「尖閣諸島」模型 (縮尺1/10,000) と「沖ノ鳥島」
模型」 (縮尺1/7,000)」

第3回 日本郵船歴史博物館 (平成26年
9月)

「靱山艦船模型製作所の手になる氷川丸の模型」

第4回 横浜みなと博物館 (平成26年
10月)

「鉄螺旋杭(スクリーパイル)の動画」

第5回 フェルケール博物館 (平成26年
11月)

「フォグホーン (霧中号角)」

第6回 名古屋海洋博物館・南極観測船ふじ (平成26年

12月)

- 「写真パネル（ふじとペンギン）」
第7回 神戸海洋博物館 (平成27年
1月)
- 「赤い橋」
第8回 大和ミュージアム (平成27年
2月)
- 「ワトキン傾斜計」
第9回 苫小牧ポートミュージアム (平成27年
3月)
- 「東日本大震災とフェリーターミナル パネル」

(6) 国、関係団体への要望活動

当協会の活動への支援等について、国土交通省に対し2回に分けて要望活動を行った。

1) 第1回

- ・日時：平成26年9月9日13:00～14:00
- ・要望先：国土交通省港湾局
大脇 崇 港湾局長
高田 昌行 産業港湾課長
津田 修一 海洋・環境課長
- ・要望内容：
 - ・みなとまちづくりに関する活動への支援
 - ・「みなとオアシス」の積極的な活用への支援
 - ・ウォーターフロントの復旧・復興に係る支援
 - ・みなとの博物館ネットワーク・フォーラムの活動に対する支援の

継続

2) 第2回

- ・日時：平成26年11月11日13:10～13:40
- ・要望先：国土交通省港湾局
菊地 身智雄 大臣官房技術参事官
浅輪 宇充 技術企画課長
- ・要望内容：「汚濁防止膜再利用カーテン強度証明制度」の創設について

3. ウォーターフロント啓発普及事業（公益目的事業）

(1) 「みなとまちづくりマイスター」の認定

1) 平成26年度『みなとまちづくりマイスター』の認定

「選定委員会」にて選定された次の13名を平成26年7月21日「海の日」付けで認定した。なお、認定された『みなとまちづくりマイスター』については、メルマガ「みなとまちづくり通信」(No.105～No.107)と「ウォーターフロント開発 NO.32」にて紹介を行った。

<平成26年度認定みなとまちづくりマイスター>

横澤 輝樹	稚内みなとまちづくり懇談会	会長
大西 育子	女性みなと街づくり苦小牧	代表
* 鳥谷部 眞実	青森港湾研究協会	会長
橋本 久夫	NPO 法人いわてマリンフィールド	理事長
* 西村 修	酒田まちづくり開発株式会社	代表取締役
田村 伴次	NPO 法人伊勢湾フォーラム	相談役
* 江崎 貴久	海島遊民くらぶ	代表
森田 潔	一般社団法人神戸港振興協会	参与
森野 一郎	マリンベース徳島	代表
小笠原 良	天然資源活用委員会	事務局長
谷本 訓男	八幡浜港みなとまちづくり協議会	会長
早瀬 康信	NPO 法人大分ウォーターフロント研究会	常務理事
川畑 孝則	NPO 法人ゆめみなと鹿児島	副理事長

*印は今年新しくマイスターになられた方。他は更新された認定者。

※今回の認定により、全国の『みなとまちづくりマイスター』は総計41名となった。

なお今年新たに認定された『みなとまちづくりマイスター』は、8月5日、国土交通省港湾局長より表彰された。

2) 『みなとまちづくりマイスター』認定記念シンポジウム

これまでに認定された『みなとまちづくりマイスター』の相互交流・意見交換・情報発信のため、全国交流会を行った。

なお、シンポジウムの内容は、メルマガ「みなとまちづくり通信」(No.107～No.108)にて配信すると共に、「ウォーターフロント開発 NO.32」にて報告し

た。

- ・日 時 : 平成 25 年 8 月 6 日 (火) 16 : 00 ~ 17 : 50
- ・場 所 : ホテル アジュール竹芝 14 階 天平の間 東京都港区海岸
- ・テーマ : 「これからのみなとまちづくり」

○ パネラー

- | | | | |
|--------|------|----------------------|-------|
| 横澤 輝樹 | 稚内港 | 稚内みなとまちづくり懇談会 | 会長 |
| 大西 育子 | 苫小牧港 | 女性みなと街づくり苫小牧 | 代表 |
| 鳥谷部 眞実 | 青森港 | 青森港湾研究協会 | 会長 |
| 橋本 久夫 | 宮古港 | NPO 法人いわてマリフィールド | 理事長 |
| 西村 修 | 酒田港 | 酒田まちづくり開発株式会社 | 代表取締役 |
| 中川 庄嗣 | 衣浦港 | 市民ボランティア団体 渡し場かもめ会 | 相談役 |
| 田村 伴次 | 名古屋港 | NPO 法人伊勢湾フォーラム | 相談役 |
| 江崎 貴久 | 鳥羽港 | 海島遊民クラブ | 代表 |
| 谷本 訓男 | 八幡浜港 | みなとまちづくり協議会 | 会長 |
| 早瀬 康信 | 大分港 | NPO 法人大分ウォーターフロント研究会 | 常務理事 |
| 川畑 孝則 | 鹿児島港 | NPO 法人ゆめみなと鹿児島 | 副理事長 |

○ コーディネーター

- | | | |
|-------|-------------------|------|
| 橋間 元徳 | 一般社団法人ウォーターフロント協会 | 専務理事 |
|-------|-------------------|------|

(2) みなとまちづくり研究会

[第 14 回研究会]

- ・日 時 : 平成 26 年 6 月 3 日 (火) 15 : 30 ~ 17 : 20
- ・場 所 : ホテル アジュール竹芝 14 階 天平の間 東京都港区海岸
「食とみなとまちづくり」大討論会—第 3 弾—
- ・みなとまちづくりマイスターからのメッセージ
 - ①Sea 級グルメ大会へのいざない
長澤 宏昭 みなとオアシス全国協議会 会長
 - ②港弁の展開
谷本 訓男 八幡浜港みなとまちづくり協議会 会長
- ・参加者全員による大討論会
- ・交流会

〔第15回研究会〕

- ・日 時 : 平成26年7月18日(金)～19日(土)
 - ・場 所 : グリーンヒルホテル尾道 広島県尾道市
 - ・「みなとオアシス全国協議会」総会 7月18日(金)14:30～15:00
 - ・みなとオアシスの集い 7月18日(金)15:00～17:00
- 基調講演1: 海からはじまる歴史的空間・尾道
講師: 稲田 全示 尾道市立大学 芸術文化学部 教授
- 基調講演2: みなとオアシス誕生から10年を迎えて
講師: 梅野 修一 国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部長
- 意見交換
コーディネーター: 橋間 元徳 一般社団法人ウォーターフロント協会 専務

理事

交流会

- ・現地視察 7月19日(土)8:30～ クルージング(尾道港～垂水港)
研究会の概要は「みなとまちづくり通信」No.110～111掲載

(3) ウォーターフロント研究サロン

ウォーターフロント研究サロンとして、毎月1回、当協会事務所にて、知見ある講師による幅広いテーマでの講演及び討議を行った。

講演内容については、メールマガジン「WFニュース」で随時報告し、主要テーマについては「ウォーターフロント研究レポート」として発行した。

第63回 4月11日(金)

『カンボジアにおける国際貢献活動(地雷・不発弾処理等)について』
JMAS(日本地雷処理を支援する会) 古賀 英松

第64回 5月9日(金)

『新聞業界の実態とその功罪』
株式会社都市計画通信社 港湾空港タイムス 編集主幹 浜田 正弘

第65回 6月25日(水)

『海洋開発をめぐる最近の動向』
横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 特任教員(教授) 宮本 卓次郎

第66回 7月9日(水)

『新潟の六斎市(定期市)』
国土技術政策総合研究所 管理調整部長 吉田 秀樹

- 第 67 回 8 月 1 日 (金)
『南極大陸での非日常的な日常 ～南極観測を支える縁の下の力持ち～』
飛島建設株式会社 東京支店営業グループ担当部長 橋本 斉
- 第 68 回 9 月 4 日 (木)
『ひたすら前を見て進むベトナム ～2 度の JICA 長期専門家を経験して～』
三菱商事 UBS リアルティ 株式会社 常務執行役員 大津 光孝
- 第 69 回 10 月 20 日 (月)
『居合道と私』
国土交通省居合道部 釜石市職員 三浦 尚子
- 第 70 回 11 月 10 日 (月)
『港湾局での歩みを振り返って』
元 港湾局長 (当協会顧問) 栢原 英郎
- 第 71 回 12 月 3 日 (火)
『『わ』を以て貴しとなすー高度消費社会の商業ビジネス語録と港湾ー』
日本大学理工学部 客員教授 新井 洋一
- 第 72 回 1 月 14 日 (水)
『我々は阪神淡路大震災から何を学んだか ～震災から 20 年を迎えて～』
株式会社不動テトラ 専務執行役員 森川 雅行
- 第 73 回 2 月 3 日 (火)
『トルコと南イタリアのウォーターフロント事情』
横浜国立大学 統合的海洋教育・研究センター 特任教員(教授) 宮本 卓次郎
- 第 74 回 3 月 3 日 (火)
『2014 年夏、ー 樺太・千島列島・カムチャツカ ー
(邦船による) 感謝・慰霊の北方クルーズ』
一般社団法人ウォーターフロント協会 会員 野村 健司

(4) ウォーターフロント環境研究会の開催

ウォーターフロント環境研究会に「海洋環境保全技術委員会」を設け、「汚濁防止膜再利用カーテンの強度証明制度」を創設すべく研究を進めてきた。制度スタートに向けて、海洋環境保全技術委員会メンバーによる打合わせを行った。

- <第 1 回>・日 時：平成 26 年 12 月 24 日 (水) 15：00～18：00
・場 所：一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦

- ・出席：7社
株式会社アケボノ、海和テック株式会社、太陽工業株式会社、
高階救命具株式会社、株式会社ハクショウ、前田工織株式会社、
株式会社オガワテクノ

- <第2回>・日時：平成27年2月12日（水）15：00～18：00
- ・場所：一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦
 - ・出席：6社
株式会社アケボノ、太陽工業株式会社、高階救命具株式会社、
株式会社ハクショウ、前田工織株式会社、株式会社オガワテクノ

- <第3回>・日時：平成27年3月16日（月）14：00～17：00
- ・場所：一般社団法人ウォーターフロント協会 東京都港区芝浦
 - ・出席：6社
株式会社アケボノ、太陽工業株式会社、高階救命具株式会社、
株式会社ハクショウ、前田工織株式会社、株式会社オガワテクノ

- <管理運営委員会>・日時：平成27年3月25日（水）10：00～12：00

- ・場所：ホテルアジュール竹芝 東京都港区海岸

〈汚濁防止膜再利用カーテン引張強度証明制度 管理運営委員会名簿〉

新井 洋一	NPO 法人リサイクルソリューション 会長
出口 一郎	大阪大学 名誉教授
平石 哲也	京都大学防災研究所 教授
長尾 毅	神戸大学都市安全研究センター 教授
宮田 正史	国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾施設研究室長
寺内 潔	一般社団法人日本埋立浚渫協会 第一調査研究部長
梅沢 信敏	一般財団法人港湾空港総合技術センター 研究主幹
野澤 良一	国土交通省 港湾局 技術企画課 課長補佐
引屋敷 英人	国土交通省 港湾局 技術企画課 建設企画室 施工基準係長
阿部 二郎	国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾整備・補償課長
高橋 宏彰	東京都港湾局 港湾整備部 技術管理課長

(5) 機関誌の発行

ウォーターフロント開発に関する情報交換の促進を目的として、平成26年

12月に機関誌「ウォーターフロント開発 No.32」を発行し、会員及び国の行政機関等に配布した。

(6) 出版事業の展開

ウォーターフロント研究レポート

主としてウォーターフロント研究サロンの講演録を収録して出版している。

2014 Spring

vol. 53 「遍路の道も一歩から（四国八十八箇所を巡って）」

大成建設株式会社 顧問 片桐 正彦

vol. 54 「海外コンテナ港湾の最近の動向と大阪港における取組み」

大阪港埠頭株式会社 理事 篠原 正治

vol. 55 「日本人と道具」

株式会社アルティスタ 人材開発研究所 代表 玄間 千映子

vol. 56 「私の国防論」

NPO 法人海ロマン21 理事長 久田 安夫

2014 Autumn

vol. 57 「アドリア海を巡って」

一般社団法人ウォーターフロント協会 前会長 川島 毅

vol. 58 「災害から教訓を学ぶ難しさ」

株式会社エコー 取締役会長 加藤 一正

vol. 59 「真実の忠臣蔵」

一般財団法人中央義士会理事 柿崎 輝彦

vol. 60 「カンボジアにおける国際貢献活動(地雷・不発弾処理等)について」

JMAS (日本地雷処理を支援する会) 古賀 英松

vol. 61 「新聞業界の実態とその功罪」

株式会社都市計画通信社 港湾空港タイムス 編集主幹 浜田 正弘

(7) 「ウォーターフロントに関する商品・企画・アイディアの紹介」

豊かなウォーターフロント形成のため、会員が有する商品・企画・アイディア

アを当協会ホームページにて紹介している。現在3社から3アイテムを紹介している。

- ①貝殻を利用した生物多様性増幅装置「JF シェルナース」 海洋建設株式会社
- ② 浚渫底泥高圧脱水処理システム PFP りんかい日産株式会社
- ③閉鎖性水域浄化システムうみすまし 五洋建設株式会社

(8) クルーズヤーヨット「ユーホリアン」体験乗船

昨年1年間の体験乗船は延べ93名。船の操船・メンテナンス等はボランティアクルー15名で対応。随時メルマガで支援の協力をお願いしている。

・ボランティアクルー名簿

浦野 光央	江口 肇	鎌田 一郎	國松 靖	佐藤 孝夫
塩崎 正孝	武内 豊	橋間 元徳	橋本 光壽	福本 進
松田 賢	宮地 豊	山根 隆行	山本 淳一	吉田 昌兼

・特別企画「ユーホリアン」スローライフ&ハッピーアワー

日 時 平成26年6月14日(土) 11:00~15:00

場 所 横浜ベイサイドマリーナ 横浜市金沢区白帆町1番地

体験乗船者、ボランティアクルー及び関係者が船上でのStayを楽しむ。

・「東京湾大感謝祭」プレジャーヨット無料体験クルージングに参加

日 時 平成26年10月25日(土)~26日(日)

場 所 横浜港象の鼻パーク

27組42名参加。体験乗船者からは好評をいただいた。

(9) メールマガジン、ホームページ等による情報発信及び情報交換。

1) 『WFニュース』

協会創設以来、平成27年3月までに296号を配信。平成20年10月第221号よりメールマガジンとして内容も一新、毎月1回配信している。

2) 『みなとまちづくり通信』

平成20年7月海の日に創刊号を配信。その後毎月2回のペースで配信

し、平成 24 年 1 月から毎月 1 回配信している。平成 27 年 3 月までに 111 号を配信。

3) 『みなとオアシス便り』

平成 21 年 7 月海の日に創刊号を配信、その後毎月 1 回配信している。
平成 27 年 3 月までに 65 号を配信。

4) 『みなとの博物館情報』

平成 22 年 9 月に創刊号を配信、その後毎月 1 回配信している。平成 26 年 3 月までに 55 号を配信。

4. ウォーターフロント調査研究事業

(1) ウォーターフロント研究開発事業（公益目的事業）

1) 海外のウォーターフロント開発事例に関する情報収集

平成 26 年度は、海外事例として、ワシントン州バンクーバーのウォーターフロント開発について情報を収集し、機関誌「ウォーターフロント開発 No. 32」にて報告を行った。

2) 平成 26 年度ウォーターフロント開発状況海外調査

この調査は、一般財団法人みなと総合研究財団と建設コンサルタンツ協会を中心とした調査に、当協会の宮本理事が副団長として参加した。

目 的：トルコ国及び南イタリアのウォーターフロント等を視察

日 程：平成 26 年 6 月 12 日～6 月 23 日の 12 日間

訪問地：イスタンブール、ナポリ、アマルフィ、ローマ等

資 料：当協会機関誌「ウォーターフロント開発 NO. 32」に報告を掲載。

(2) ウォーターフロント開発調査事業（収益目的事業）

1) 受託調査

次の 3 件を受託した。

①件 名：「みなとオアシス」における災害対応力向上方策検討業務

発注者：国土交通省港湾局

②件 名：九州地域の港湾空間を核とした魅力あるみなとづくり方策検討調査

発注者：国土交通省九州地方整備局

③件 名：那覇港振興方策について

発注者：株式会社レキオコンサルタント

付属明細について

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する付属明細書の事業報告の内容を補足する重要な事項は存在しないので、作成しない。